

雲北陵月報

No. 471

令和6年11月30日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

創立115周年記念式典 華やかに挙行

創立記念日の11月8日、秋晴れの澄み切った空のもと、出雲商工会議所会頭福岡正純様、出雲南ロータリークラブ会長田中充様をはじめ、平素本校がお世話になっている多くのご来賓の皆様をお迎えし、創立115周年記念式典が本校において開催された。

水谷厚志理事長は式辞の中で今日の本学園の充実した発展を見たのは、生徒諸君の真摯な努力を礎に、本校に関わっていただいた各方面の多くの方々のご支援・ご尽力のお蔭であるとし、感謝の意を表した。

また、創立当時の水谷キワ・喜次郎夫妻の教育に懸けた一念が本校の基盤となり、水谷鑑二代校長、水谷勲三代校長へと受け継がれ今日の発展に繋がったと述べた。

終わりに、未来に向け、意も新たに私学人としての誇りを胸に秘め、一層魅力ある学園づくりを目指して精進を続けていくという力強い決意を述べた。生徒達は真摯に理事長、ご来賓の言葉に耳を傾け、厳肅な本校らしい式典となった。

《永年勤続(30年)表彰》

黒崎 勉(教諭) 尾添喜行(教諭)

石川剛巨(教諭)

《部活動功労者表彰》

原田 実(教諭) 竹内康貴(教諭)

古瀬泰之(教諭) 井上美代(教諭)



吹奏楽部

第37回全日本マーチングコンテスト全国大会

11月17日
大阪城ホール

本校としては10年連続12度目となる全国大会に出場した。「全国大会金賞」を目標に掲げ、本年度のテーマである「不撓不屈」を胸に、部員達は日々地道な練習を積み重ね大会に臨んだ。

本年度から全国大会出場団体が昨年度の25団体から36団体と増加し、前半の部と後半の部の2部門で開催され、本校は前半の部に出場した。

本番では凛とした姿で正統派の演奏演技を披露することができ、会場から大きな拍手をいただき、銀賞を受賞することができた。

本校は部員数が少なく不利な状況ではあったが、大人数のバンドに比べても遜色のない堂々とした演奏演技であった。これも偏に日々様々な面で献身的にサポートいただいた保護者の皆様、応援してくる卒業生、ご支援ご声援をいただいている地域の皆様のお蔭と感謝しております。本当に有難うございました。

これからも地域に愛されるバンドを目指し、変わらず日々精進していきたい。(顧問 竹内康貴)

合唱部

第77回全日本合唱コンクール全国大会

10月26日
大宮ソニックシティ大ホール

2年ぶり、20回目の全国大会出場を果たし、生徒達も本番ステージに向けてかなり気合いが入っていた。特に今回の自由曲は、作曲家 横山潤子先生に委嘱して作っていただいた作品で、曲中手拍子や足拍子、様々なパフォーマンズなどが入るなど、今までにない曲で、本番前日まで試行錯誤を繰り返した。コンクール本番では、心地よい緊張感の中、今までの練習の成果を遺憾なく発揮することができた。特に、ホールを鳴らすサウンド

を実現できたこと、意図をもって自分達が表現したいことを表現できたことなど、歌いきった感があつた。結果は、銅賞で残念な気持ちもあるが、全国の壁の高さを肌で直接感じるよい機会となった。また、Aグループ出場14団体のうち、混声合唱は3団体と近年混声合唱の全国大会出場は、極めて厳しい状況になってきている。しかしながら、本校合唱部は混声合唱にこだわり続け、全国大会に連続出場ができるように、今一度基本を大切にしながら、更に演奏のクオリティ、個人の技量を高めるべく、練習に励みたい。(顧問 布野浩志)



女子ソフトテニス部

第79回天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会

11月8〜10日
於 有明テニスの森

落合 遥(14歳)・栗原奈々(25歳)ペア出場
1回戦 5-12 山梨県ペア
2回戦 2-15 日本学連ペア

大きな舞台で大変貴重な経験を積むことができた。全国の舞台で勝ち上がれるよう今後も真摯に競技と向き合っていきたい。(顧問 竹内康貴)



第12回島根県シングルスソフトテニス選手権大会

11月9日
於 松江総合運動公園市営庭球場

優勝 森田早貴(24歳)
3位 杉田早貴(14歳)
※来年度行われる全日本シングルスの出場権獲得

大会総評
本大会での優勝は本校初で、大きなステップアップとなった。応援有難うございました。



陸上競技部

第75回島根県高校男子駅伝大会

於 時 11月2日
出雲

- 混成チーム(4.2.1.9.5 km・7区間) 2時間38分08秒 9位
- 1区(10 km) 飯島翔太郎(15年) 区間12位
- 2区(3 km) 高橋優澄(15年) 区間6位
- 3区(8.107.5 km) 高橋昂聖(11年) 区間10位

○大会総評

今年度も男子が明誠、松江西との合同チームで出場し、本校が前半の3区間まで受け持ち、流れを作った。

昨今の出場チームの減少から、今年は浜山公園内で一周2 kmのコースで行う予定だったが、台風の影響を考慮してトラックレースで実施した。当日の大きな変更にもかかわらず、現在持っている力を発揮した。この経験を来シーズンに生かし、単独チームで出場できるようにしたい。(顧問 別所美喜子)

美術部

高文連出雲地区絵画コンクール

於 時 10月25日
出雲大社



本校から21名が参加した。快晴の写生日和となり、油絵や水彩で風景画に取り組んだ。4時間という短時間で一枚仕上げたが、生徒は楽しみなが真剣に制作に取り組んでいた。参加した全員が入選し、中でも7作品が特選に選ばれるなど、今後につながる良い結果となった。

インターアクトクラブ

インターアクト指導者講習会

於 時 11月9・10日
県立青少年の家

今年度のインターアクト指導者講習会は出雲西高校がホスト校で、1泊2日では

開催し、県内のインターアクトクラブの生徒、顧問 提唱ロータリークラブの方々と合わせて40名ほどの参加者だった。内容は「防災・災害支援について」で、

「t o g e t h e r 代表の野津寛延さんに講演とワークショップをしていただいた。ワークショップでは実際に避難所での動きと高校生にできることを詳しく説明・実践された。

近年、地震や豪雨などの災害が相次ぎ、多くの方々が被災されているので、支援の仕方、災害対策など多くのことを学ぶことができた。

高瀬川クリーン作戦

於 時 11月3日
出雲市内高瀬川流域



出雲南ロータリークラブが主催する「高瀬川クリーン作戦」があり、インターアクトクラブ生徒6名が参加した。

上流で川の水を止め、足首くらいまで水位が下がったところで、川底清掃をした。空きビン・空き缶・乾電池などの小さなゴミから、流木、壊れた傘、衣類といった大きなゴミまで、2〜3キロほどの清掃区域の中で多くのゴミが集まった。



毎年恒例の活動ということもあり、ゴミの量は徐々に減ってきている。急に秋めいてきて、肌寒い日だったが、冷たい川の中での1時間ほどの活動で、終えた時は清々しくなった。

吹奏楽部

高巣秋祭り「ふれあい音楽会、佐田まつり

於 時 10月27日、11月3日
高巣コミュニティセンター

標記の2つのイベントにも多くの地域の方が参加されており、非常に盛り上がった会となった。

今後「地域に愛されるバンド」を目指し変わらぬ精進していきたい。

出雲ドームかみあり吹奏楽フェスタ2024

於 時 11月2日
出雲ドーム

本年はゲストとして京都府の京都橋高等学校吹奏楽部の皆さんに出演いただき、チケットも完売と、大変盛り上がった会であった。

本校は、今月17日に行われた全国大会を前にしての演奏会であり、部員達は一丸となって練習に取り組み、本番では立派なパフォーマンスと演奏を披露した。(顧問 竹内康貴)

情報技術部

第15回中国五県高等学校商業教育実技競技大会(ワープロ競技)

於 時 11月2日
倉敷商業高校

【大会参加者】三島瑞己(24年)、水合駿斗(14年)個人競技に2名の部員が出場した。中国エリアは山陽の実力校がひしめき合う地区で、本校生徒にとっても緊張と挑戦の大会となった。



競技では、誰の手も借りずにパソコンの設定から印刷まで行う。緊張感に包まれた中、2名は大舞台で競技できたこと、また一つ成長できたと思う。

ゆめフェスタ高校生チャレンジショップ

於 時 10月12〜13日
なかもち商店街



出雲市となかもち商店街が主催する催しに、情報ビジネスコースの生徒と、2年生2名が4店舗を出店し、販売実習を行った。7月の応募から始まり、足掛け3カ月の間に商品提案から店舗運営・利益予想など、アントレプレナーシップについて学ぶ機会をいただいた。

初めて販売する立場を経験する生徒達にとっては苦難の連続だったが、商店街店主の皆様にご協力いただき、先日行われた最終審査まで無事終えることができた。(顧問 永瀬貴之)

創立115周年記念 第30回出雲北陵高等学校英語レシーションコンテスト

於 時 11月3日
中高棟北陵ホール

節目となる30回目の本校主催レシーションコンテストが開催され、小学生の部に13名、中学生の部に24名の参加があった。島根大学外国語教育センター教授カメラ・リスキー先生を審査委員長にお迎えし、審査が行われた。

団体賞は出雲市立湖陵中学校が初受賞した。入賞者は次の通り。

*団体賞 出雲市立湖陵中学校(初)

*個人賞

(最優秀賞)

小学生の部 ランゲ桐真(城北小4年)

中学生の部 桑原るい(湖陵中3年)

(優秀賞)

小学生の部 奥井大鳳(塩冶小3年)

中学生の部 常松理央(向陽中3年)

小学生の部 小村暖華(浜山中3年)

中学生の部 亀尾美月(島大附属9年)

(奨励賞)

小学生の部

奥井 開(みなみ小4年)

生越 蓮(島大附属2年)

藤原蒼翔(出雲三中2年)

狩野汐来(出雲北陵中2年)

浅井ひらり(平田中3年)

宮下誠二(平田中3年)

貝田るり(出雲三中2年)



小学校の部受賞者の皆さん



中学生の部受賞者の皆さん

カラヨキ市訪問団来校



来校者のみなさん

時 11月14日
およそ5年ぶりにフィンランド・カラヨキ訪問団が来校された。今回来校されたのは、カラヨキ市立高校校長のリク・サクスホルム先生と同高校教諭のマリヤ・サクスホルム先生で、地元の高校にも美術のコースがあり、今回は本校美術コースの授業を視察された。生徒が制作に取り組む様子を興味深く観察されていた。



2年6組VDの授業を視察

公開授業(新任者研修)



時 10月24日
この研修は新任教員の授業力向上、教科指導を研鑽する目的で毎年実施されている。新任教員の3名は緊張感を持ちながらも生徒としっかり向き合ったり、ICTを駆使したり、熱のこもった授業を展開した。他の教員は参観し、その後、授業者・当該教科教員で講評会を開き、意見交換を行った。

避難訓練



時 10月30日
今回は地震を想定し、「南棟との境界に亀裂が入り、昇降口や中高棟ホールのガラスが破損した」という状況で訓練が実施された。生徒は指示に従い迅速に行動し、9分余りで避難は完了できた。訓練を通して防災意識を高める好機となった。

企業ガイダンス



時 10月29日
キャリア教育の一環として、2年生全員を対象に「企業ガイダンス」が開催された。出雲市内を中心に25社が来校し、体育館・黎明館・黎明ホールに企業ブースを設置。生徒達はそれぞれ4社の説明を受けた。

次年度の進路決定に向けての意識づけ、将来の進路選択に大変参考になったと思われる。企業ガイダンスの企画にあたってくれた本校就職指導部、参加していただいた25社の企業の皆様に感謝したい。

職業人講話



時 11月12日
於 体育館、黎明ホール
本校キャリア教育の一環として、1年生を対象に20職種参加による職業人講話が行われた。生徒達は各ブースを移動しながら、仕事のやりがいや苦労話、資格を取得するための上級学校の選び方などを聞き、将来の進路を考える良いきっかけになったと思う。最後にご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

卓球部

時 11月1-3日
於 長崎県立総合体育館
JOCジュニアオリンピック2024年全日本卓球選手権大会(カデットの部)
男子ダブルス 2回戦敗退

中司良心(中1選)・住田光亮(中1西) ペア
U-13男子シングルス
2回戦敗退 岡本悠希(中1世)、中司良心
大会総評
全国大会で勝ち進むことの難しさを改めて学んだ。シード選手相手に善戦したものの、勝負所でのプレー及び気持ちの弱さが露呈した。選手達には今大会で得た経験を糧にし、更なるレベルアップを図っていくことを期待したい。

東京・大阪・名古屋OP島根県予選会

時 11月9日
於 平田体育館
【男子シングルス】
2位 岡本悠希 4位 小林麟太郎(中2廻)
6位 隈元慶真(中1世) 7位 住田光亮
9位 中司良心
大会総評
右記の結果により、東京OPへ1名、大阪OPへ2名、名古屋OPへ5名の出場が決定した。いずれの大会でも上位進出を目指して頑張っていきたい。

バスケットボール部

時 11月9-10日
於 大田総合体育館
第3回島根県中学校新人バスケットボール選手権大会
〈男子〉
1回戦 本校 85-52 湖南
準決勝 本校 50-67 MASUDA BANDITS
3位決定戦 本校73-41 TWO UP
3位入賞(中国新人戦出場決定)
大会総評
準決勝では、こちらのリズムを作ることでできず敗れてしまったことが悔やまれる。中国大会に向けて練習に励みたい。ご支援有難うございました。(顧問 多々納厚比古)



らのリズムを作ることでできず敗れてしまったことが悔やまれる。中国大会に向けて練習に励みたい。ご支援有難うございました。(顧問 多々納厚比古)

〈女子〉
1回戦 本校 30-72 SHOOTING CLUB
大会総評
最終相手にペースを握られてしまい、思うような試合運びをすることができなかった。見直すところと継続して取り組む内容をチームで整理し、これも一つの経験と捉え、更なる成長に繋げたい。応援有難うございました。(顧問 和田拓真)

中学2年生 職場体験学習



時 10月23-24日
於 出雲市内14事業所
「何のために働くのか」を共通のテーマに掲げながら、それぞれが着眼点を持って体験に臨んだ。事前の電話連絡では緊張感が漂っていたが、無事終わるとホッとした表情を浮かべていた。体験初日から様々な仕事を任せていただき、学校ではなかなか見せない真剣な眼差しで取り組んでいた。2日目は若干表情が緩み、多くのことを吸収しようという前向きな姿が見られた。
生徒の感想からは、「熱量を持って仕事に取り組むことの大切さを感じた」、「働くことで誰かのためになることが分かった」などと言う言葉が綴られ、身を持って働くことの意味ややり甲斐を感じることができた様子だった。今回の体験を今後の学校生活や将来のキャリア選択に生かしていきたい。お世話になった事業所の皆様に感謝申し上げます。(中学2年担任 和田拓真)



お世話になった事業所の皆様に感謝申し上げます。(中学2年担任 和田拓真)

国際交流ひろばワークショップ



11月13日 本校 於

今年度は、アイルランド・フィンランド・大韓民国の講師の方々をお迎えし、学年ごとに異国の文化に触れ交流を深めた。1年生は「食とスポーツ」、2年生は「幸福と教育」をテーマに講話を聞き、3年生は調理実習で宮中トッポッキを作った。いずれも非常に充実した時間を過ごすことができた。講師の先生方からも、本校の生徒と交流できて良かったと喜びのコメントをいただき、素晴らしいワークショップとなった。

第2回合同礼法

10月30日 中高棟ホール 於

創立15周年記念式典に合わせ、学園創立の経緯や歴代の校長先生、校訓の意味などに触れる目的で、井上美代教諭を講師として第2回合同礼法を実施し、生徒56名が受講した。

今市高等学校初代校長で、教育に情熱を注がれた水谷鑑次郎先生と、のちに水谷家の養子となられた落合喜次郎先生、更に喜次郎先生と長廻(のちに水谷)キワ先生との出会いがなければ現在の学園はなかったこと、キワ先生の校舎新築の際は、喜次郎先生が単身、台湾に渡って台湾総督府中学校の教員として働かれ10年かけて借金を返済されるなど学校を支え続けられたことについて学んだ。

また、校訓「柔しく剛く」について、学校



や家庭において人にしてもらうことを当たり前と思わず、逆にその人の立場を考慮行動することが自律につながることで、迷ったら大変だと思ふ道を選ぶことが後の自分の成長につながることを学んだ。

生徒達が本校の伝統と校訓の重さを受け止め、自己を見つめ一層成長していく姿を見守りたい。

小学生対象体験講座

11月4日 時

11月4日(月・振替休日)に体験講座を開催し、美術部、華道部体験を設け、市内の小中学生に参加していただいた。また体験講座に合わせて、入学説明会と個別相談も行った。説明会にも多くの方に参加していただき、賑やかな1日となった。



出雲科学館理科学習(中学1年)

11月7日 時

「物質の姿と状態変化」のテーマで生徒26名が受講した。1時間目はサイエンスホールにおいて、液体窒素中で二酸化炭素が固体へと、窒素と酸素が液体へと状態変化する様子、ガスバーナーで高温に加熱されたアルミニウムや食塩が液体に状態変化する様子を観察し、純粋な物質には沸点・融点が決まっていることを確認した。

2・3時間目は水とエタノールの混合物を熱し、出てきた物質を調べ沸点の違いを元に考察した。



生徒達はグループでの役割分担を元に協力し合って実験に取り組み、考察では積極的に発表し、単元の理解を深めた。

オーストラリア語学研修旅行

中学生 3年生

10/15~23



☆ブリスベン市内観光の様子



☆現地校との交流



☆ブリスベン空港にて

オーストラリア語学研修旅行を終えて

10月15~23日 時

於 ウィズダム・カレッジ

今年度は、クイーンズランド州・ブリスベン市にある「ウィズダム・カレッジ」に出かけました。いつもは中学3年生を対象とした本行事ですが、今回は創立15周年を記念して高校生1名にも参加してもらい、更に実りある国際交流の場となりました。機内泊など体力的に大変な場面もありましたが、怪我や病気もなく全員が元気に帰ってくることができました。

初日はブリスベン市内を観光し、生徒達は目を輝かせながら海外の街並みを楽しんでいました。ホームステイ先では、今まで育んできた英語力をそれぞれ発揮し、積極的に話すことや聞くことを通して、その力を更に高めました。学校ではバディの授業を共に受けたりと、休み時間には現地の学生とスポーツで遊んだり充実した時間を過ごしました。また放課後には、現地スタッフのシェーン先生からすぐに使えるフレーズを学びました。最終日のお別れパーティーでは、日本で作ってきた動画やクイズを現地の学生に楽しんでもらうことができました。先方からは修了証をいただきました。

この旅行を通して、生徒達は英語でコミュニケーションを取ることができた自信をつけることができました。終盤には自分達で試行錯誤しながら、ホームステイ生活を楽しむ姿に頼もしさも感じました。これもひとえに保護者の皆様をはじめ、多くの方々のご支援があったからこそだと思います。誠に有難うございました。

(中学3年担任 水谷円香)

作品と研究

令和6年度

秋季写真コンクール

特選作品集



「ばあ」

水口 笑奈
(1-3 平田)



「いつかまた」

天野 莉瑠 (1-3 斐東)



「退屈」

松村 菜生
(2-3 出三)



「探求者」

西出 みき (2-3 出-)



「もの思い」

西出 みき
(2-3 出-)



「能面」

佐藤 優真
(2-5 出三)



「至福の時間」

山崎 凜桜
(2-5 天社)



「視線」

馬庭 葵琳 (2-4 浜山)



今月の
1枚

「ハロウィン」

今岡 夏海 (3-2 斐西)



「表舞台」

山崎 凜桜
(2-5 天社)